

第6学年1組 国語科学習指導案

1 単元名 筆者のものの見方をとらえ、自分の考えをまとめよう 『鳥獣戯画』を読む

2 単元設定の理由

【児童について】

- 本学級の子どもたちは、1学期に説明文「時計の時間と心の時間」で、筆者の考えや主張を捉える学習を経験してきている。しかし、実体験や科学的な事象を根拠とした主張とは違い、「ものの見方」は個人の感性によることが大きく、根拠も具体と抽象が入り混じってくる。そこで、筆者のものの見方を捉えることができるようになるこの期に、本単元を取り上げる。絵と文章とを対応させながら読み、筆者のものの見方を捉えた上で、自分のものの見方を広げていくことができるようにする。



【教材について】

- 本単元は、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかくことと、友だちとの交流を通して自分の考えを広げたり深めたりすることをねらいとしている。
- 本教材は、「漫画の祖」と言われる国宝の絵巻物『鳥獣人物戯画』の一場面を取り上げて解説した説明文である。筆者は、絵の中から取り上げた部分についてその大きさや形などに着目し、様々な言葉を使って評価しているので、筆者のものの見方や考え方を読み取ったり、感じたことを表す表現の効果や構成の工夫について学習させたりするのに適した教材である。
- 本単元に関しては、第5学年の「天気を予想する」で、文章の構成や図表・写真に着目して、筆者の説明の工夫や図表を取り入れた意図について学習してきている。本単元では、これらの上に乗って、筆者と自分のものの見方と比べたり、友だちとの話し合いを通して共通点や相違点に気付いたりして、視野を広げることができるようにする。このことは、分析的に絵画に向き合い、自分のものの見方について学んだ表現や構成の工夫を活用しながら、自分の解説文を書く活動へと発展していく。

【単元全体では、こんな表現活動を】

- 本単元では、絵と文章を対応させながら読み進め、筆者の見方を読者に伝えるための表現や構成の工夫について考えることができるようにする。そのために、グループ交流や全体交流を取り入れ、共通するところや違うところを、友だちと交流できるようにしていく。さらに筆者のものの見方に対して、自分のものの見方の広がりを実感させることができるようにする。

【本時（4/7）では、こんな表現活動を】

本時では、筆者が『鳥獣戯画』を「人類の宝」と考えている理由を叙述から抜き出し、友だちとの交流を通してその理由を明確にし、「人類の宝」と言い切った筆者の思いを読み取ることができるようにする。

3 目標

- 筆者の「ものの見方」の伝え方の工夫に気づき、活用しながら自分の見方を表現できるようにする。
(知識及び技能)
- 筆者が絵巻物に対して、何を取り上げて、どのような見方をし、どのように評価しているか読み取り、自分の見方を文章で表現することができるようにする。
(思考力、判断力、表現力) 【読むこと】
- 絵巻物に興味をもち、筆者の見方や評価を意欲的に読み取り、根拠をもとに考えたことを話し合おうとする態度を育てる。
(学びに向かう力)

4 単元計画（全7時間）

	学 習 活 動	主 な 支 援
つ か む ①	<p>1 教材文と出会い、単元のめあてと学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 絵を見て感じたことをノートにまとめ、筆者のものの見方や感じ方との違いに気付く。 ○ 単元計画を確かめ、単元のめあてを立てる。 <p>単元のめあて 筆者の作品に対する見方をとらえ、自分の考えをまとめよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 絵を見て、自分の見方を出し合った後、本文と出会わせ、ものの見方を読み取っていくことを確認する。
つ く る ④	<p>2 全文を読み、筆者のものの見方を捉える。</p> <p>(1) 書かれている内容を捉え、段落と絵を結び付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 観点に沿って、文章と絵を対応させながら読んでいく。 <ul style="list-style-type: none"> ・絵全体の中で、どの部分を取り上げているか。 (どの兎か、兎のどこかなど) ・取り上げた対象の、何に着目しているか。 (形、大きさ、色、格好、表情など) ・どのようによいと考えているのか。 筆者の評価が表れている表現に線を引く。 <p>(2) 絵巻物に対しての筆者の見方や評価を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 筆者の評価に対し、自分の考えや感想をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真と文章の対応を確認しながら、読み取っていくことができるように、ノートに絵を貼り、線で結びながら、筆者の見方・評価をまとめさせる。 ○ 筆者の見方や評価を振り返ることができるように、既習の内容を掲示する。
本 時 4 / 7	<p>(3) 筆者が、『鳥獣戯画』を「人類の宝」と言った理由を読み取りまとめる。(本時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 視点を明確にして、「国宝」と比較・関連させながら、筆者の考えを読む。 <ul style="list-style-type: none"> ・違いから ・事例から ・説明の仕方から ○ 筆者の評価に対する考えや感想を交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 説明部分や評価が表れている表現に、色別にサイドラインを引く。 ○ 全員が考えを発言できるようにするために、3人グループで交流した後、全体で交流する。
	<p>(4) 自分の見方を伝えるための筆者の工夫を読み取り、その効果について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 観点をもとに、表現や構成の工夫をノートにまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・書き出しの工夫 ・文末の工夫 ・絵の出し方 ・絵巻物の説明に、漫画やアニメを出した理由 ・その他の工夫 ○ 表現や構成の工夫について、グループで交流した後、学級全体で話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 工夫を、見付けてて箇条書きにし、マークで区別する。 書 文 絵 ア 他 など ○ 項目ごとの表を作って書き込んでいく。
深 め る ①	<p>3 『鳥獣戯画』に対する自分の見方をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 蛙に対しての自分の見方を、200字程度でまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 筆者の表現の工夫をモデルにして、1匹の蛙について見方をまとめる。
生 か す ①	<p>4 これまでの学習で身に付けた読み方を言語活動に生かす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ まとめたものを読み合い、友だちとの共通点や相違点を見付け、感想を伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友だちの発表を聞いてから、見方の広がり気付かせるために、共通点と相違点を確かめさせる。

5 本時主眼

- 筆者の主張とその根拠をつなぐ活動を通して、『鳥獣戯画』が大昔から今に伝えられただけでなく、世界の人々へ広がり、そして未来へと続いていくものだからこそ、「人類の宝」だと主張していることを読み取ることができる。

6 準備 拡大本文、掲示用写真、センテンスカード、マーカー

7 展開

階	学 習 活 動 と 内 容	主な支援（※主な発問）
つかむ	<p>1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 最終段落の中で、筆者の主張が最も表れているところを確かめ、本時のめあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>なぜ、筆者は『鳥獣戯画』を「人類の宝」と言ったのか読み取ろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「人類の宝」と言えるか問いかけたあと、めあてをつかませるために、前時までの筆者の評価を掲示しておく。 ○ 自分の考えをつくるために、考えをつくる手順を提示する。
つくる	<p>2 筆者の主張につながる言葉を探し、考えを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 筆者の主張につながる言葉を線で囲み、全体で交流する。（表現活動②） ・「漫画の祖」・アニメの祖・今から八百五十年前 ・日本文化の大きな特色・十二世紀という大昔 ・楽しく、とびきりモダンな絵巻物 ・世界を見渡しても、これほど自由闊達なものはない ・祖先たちが大切に保存し、伝えてきた ・何物にもとらわれない、自由な心をもっている。 ・筆で描かれた絵が、自然でのびのびしている。 ・八百五十年、大切に保存し、伝えてくれた。 ○ 出された言葉について、「人類の宝」なのか、それとも「国宝」なのか考える。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【表現活動②手順】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考えと主張に着目する。 ・筆者の主張とつながる文を囲む。 ・囲んだ言葉を発表する。 </div>
深める	<p>3 説明の仕方から、「人類の宝」と言い切った筆者の思いについて話し合い、読みを深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 2枚の絵と1枚の絵巻物を提示し、筆者の説明の仕方について考え、交流する。（表現活動③） ・1枚目の絵で「漫画の祖」ということが分かる。 ・1枚目と2枚目の絵で「アニメの祖」ということが分かる。 ○ 絵巻物についての、筆者の説明から考えられること ・受け継いできたから今の漫画やアニメがある。 ・日本文化から世界の文化へ広がっている。 ・大昔から今、そして未来へと続いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全員が自分の考えを発言できるようにするために、グループ交流の場を設定する。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>筆者は、『鳥獣戯画』が大昔から今へ大切に伝えられただけでなく、世界の人々へ広がり、そして未来へと続いていくものだからこそ「人類の宝」と言い切っている。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【表現活動③の目的・支援】</p> <p>「人類の宝」について、根拠をもって自分の考えを伝え合うことで、「人類の宝」だと言い切っている筆者の思いを捉えることができるようにする。</p> <p>グループ交流が活性化するように、交流のモデルを提示し、全員が自分の考えを述べることができるようにする。</p> </div>
生かす	<p>4 「今日の学習で」を書いて本時学習をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 振り返りの観点に沿って「今日の学習で」を書く。 ○ 書いたことを発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 考えの深まりや伝え合う活動のよさを感じとらせるために、「今日の学習で」の観点を示す。 ・筆者の主張について考えたこと ・友だちとの交流で深まったこと

※ 「人類の宝」とは、誰にとっての宝なんだろう。